

(37- FE320-09-10-10-00-00)

産業振興部農林基盤整備課

審査 設計者

令和 7 年度 実施設計書

工事番号
(設計書コード) 37 - FE320 - 09 - 10 - 10

委 託 名 令和7年災農道堀之内11号線災害復旧に伴う測量設計業務委託

地区箇所名 堀之内地区 委 託 箇 所 藤枝市 堀之内 地内

委 託 金 額

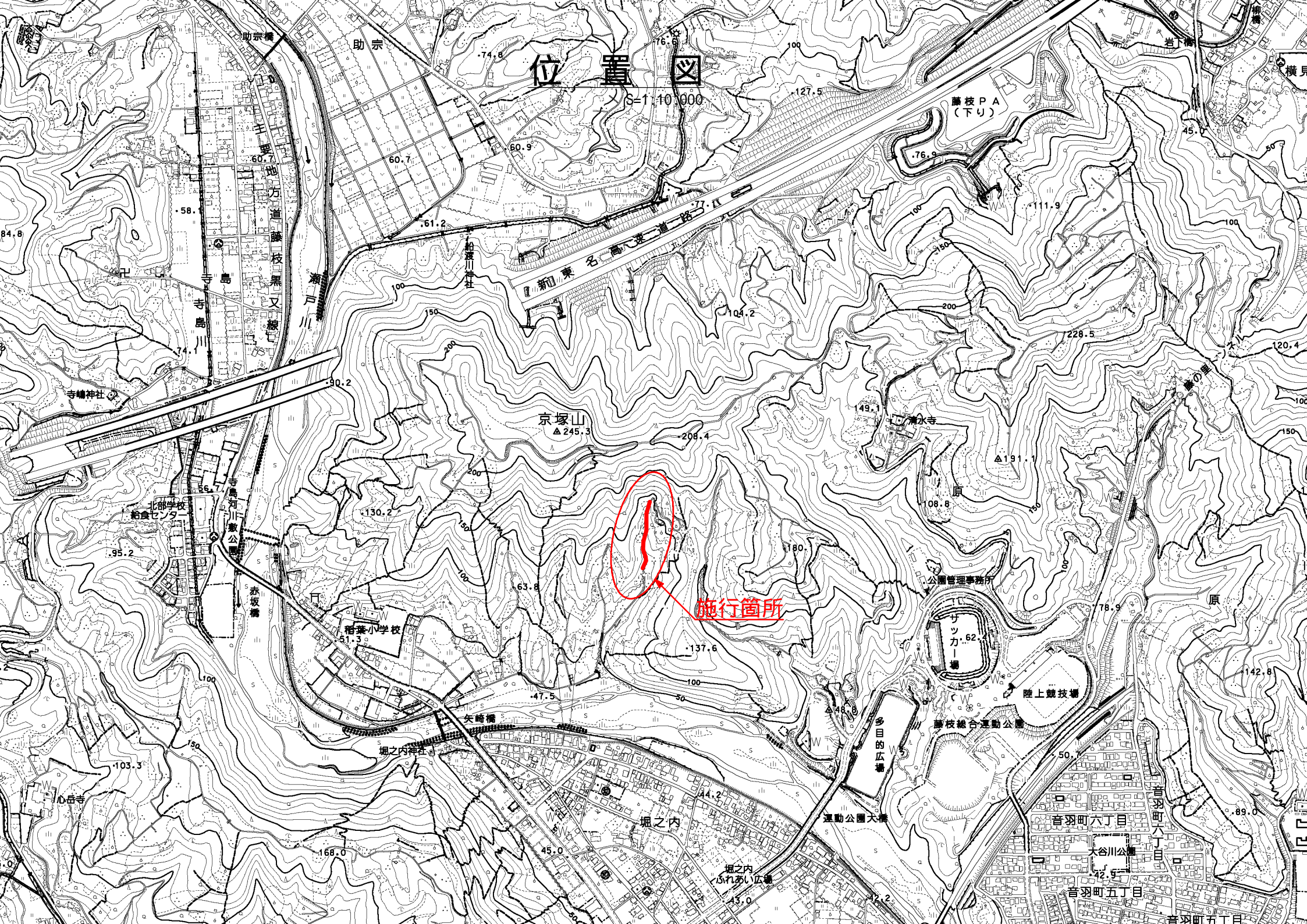
委 託 期 間 令和 8年 2月16日限り

委 託 概 要 農道測量設計業務 1 式

歩掛・単価適用年度 令和 7年 9月 基本単価 令和 7年 9月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である



位置図

S-1:10,000

施行箇所

測量試験費内訳表（総括）

[illegible]

請 負 費 構 成 表

[illegible]

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量業務費					
- 直接作業費（直人・機械経費）					
- - 路線測量	式	1			
- - - 基準点測量	式	1			
- - - - 4級基準点測量	式	1			測量第 1号表
丘陵地，原野	点	10			
- - - 現地測量	式	1			
- - - - 現地測量（作業計画）	式	1			測量第 2号表
1/250，丘陵地，原野	式	1			
- - - - 現地測量 明細計上面積0.0039km ² 1/250，丘陵地，原野	式	1			測量第 3号表
- - - 水準測量	式	1			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 3級水準測量(レベル等による) 地物:原野 地形:丘陵地 道路上	k m	0.18			測量第 4号表
--- 路線測量	式	1			
---- 作業計画	業務	1			測量第 5号表
---- 現地踏査 丘陵地 原野 0-1,000台未満/12時間	k m	0.106			測量第 6号表
---- IP設置測量 丘陵地 原野 0-1,000台未満/12時間 単曲線換算曲線数3	k m	0.093			測量第 7号表
---- 中心線測量 丘陵地 原野 単曲線換算曲線数3 間隔20m	k m	0.106			測量第 8号表
---- 縦断測量 丘陵地 原野 0-1,000台未満/12時間	k m	0.106			測量第 9号表
---- 横断測量 丘陵地 原野 単曲線換算曲線数3 間隔20m 幅4.5m未満	k m	0.106			測量第 10号表
-- 用地測量	式	1			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 登記記録調査					
	式	1			
---- 転写連続図の作成					測量第 11号表
	h a	1. 31			
---- 添付図面作成 字切図					測量第 12号表 M1001
	m 2	13, 100			用地調査等業務委託標準積算基準書(静岡県交通基盤部)P1を準用
直接作業費計					
電子成果品作成費					
	式	1			
直接経費					
精度管理費					
	式	1			
技術管理費					

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接測量費計					
諸経費 (コンサルタント)	式	1			
測量作業費					
測量業務価格					

4級基準点測量						測量第 1号表	
丘陵地, 原野							
金 円	35 点当り	積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		測量主任技師 内 業	人				1
		測量技師 内 業	人				1
		測量技師 外 業	人				1
		測量技師補 内 業	人				1
		測量技師補 外 業	人				1
		測量助手 内 業	人				1
		測量助手 外 業	人				1
		機械経費	%				

1, #等:諸経費等対象額

地 形=丘陵地, 地 域=原野, 伐採の有無=伐採なし

測量第 1号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
通信運搬費					
	%				
材料費					
	%				
小 計					
単 価					
	点				
補正率					

現地測量 (作業計画)					
測量第 2号表					
1/250, 丘陵地, 原野					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師 内 業	人				1
測量技師 内 業	人				1
測量技師補 内 業	人				1
小 計					
単 価	式				
補正率					

1, #等: 諸経費等対象額

金 円 1 式 当 り						現地測量 明細計上面積0.0039km ² 1/250,丘陵地,原野	測量第 3号表
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
測量主任技師 内 業		人					1
測量技師 外 業		人					1
測量技師 内 業		人					1
測量技師補 外 業		人					1
測量技師補 内 業		人					1
測量助手 外 業		人					1
機械経費		%					
通信運搬費等		%					

1, #等:諸経費等対象額

測量第 3号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
材料費					
	%				
小 計					
単 価					
	式				
補正率					

3級水準測量 (レベル等による) 地物：原野 地形：丘陵地 道路上 測量第 4号表 金 円 5 km 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師 内 業	人				1
測量技師 内 業	人				1
測量技師 外 業	人				1
測量技師補 内 業	人				1
測量技師補 外 業	人				1
測量助手 外 業	人				1
機械経費	%				
通信運搬費	%				

1, #等:諸経費等対象額

地 域=道路上, 地 形=丘陵地, 地 物=原野

測量第 4号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
材料費					
	%				
小 計					
単 価					
	k m				
補正率					

作業計画					
測量第 5号表					
金	円	1 業務 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
測量主任技師 内 業				人	
測量技師 内 業				人	
測量技師補 内 業				人	
小 計					
単 価				業務	
補正值					

金 円 1 km 当り 現地踏査 丘陵地 原野 0 - 1, 000 台未満 / 12 時間 測量第 6 号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量技師 外 業	人				1
測量技師補 外 業	人				1
機械経費	%				
材料費	%				
小 計					
単 価	k m				
補正率					

1, #等: 諸経費等対象額

地形=丘陵地, 地域=原野, 現地条件12時間当り=0 - 1, 000 台未満 / 12 時間

I P設置測量 丘陵地 原野 0 - 1, 0 0 0台未満/12時間 単曲線換算曲線数3 測量第 7号表					
金 円 1 km 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量技師 内 業	人				1
測量技師 外 業	人				1
測量技師補 内 業	人				1
測量技師補 外 業	人				1
測量助手 外 業	人				1
機械経費	%				
材料費	%				
小 計					

1, #等:諸経費等対象額

地形=丘陵地, 地域=原野, 現地条件12時間当り=0 - 1, 0 0 0台未満/12時間, 単曲線換算曲線数=3

測量第 7号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単 価					
	km				
補正率					

中心線測量 丘陵地 原野 単曲線換算曲線数3 間隔20m 測量第 8号表					
金 円 1 km 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量技師 外 業	人				1
測量技師 内 業	人				1
測量技師補 外 業	人				1
測量技師補 内 業	人				1
測量助手 外 業	人				1
機械経費	%				
材料費	%				
小 計					

1, #等:諸経費等対象額

地形=丘陵地, 地域=原野, 現地条件12時間当り=0・1, 000台未満/12時間, 単曲線換算曲線数=3, 測点間隔=間隔20m

測量第 8号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
単 価	k m				
補正率					

縦断測量 丘陵地 原野 0 - 1, 000台未満/12時間 測量第 9号表						
金 円		1 km当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量技師 外 業		人				1
測量技師 内 業		人				1
測量技師補 外 業		人				1
測量技師補 内 業		人				1
測量助手 外 業		人				1
測量助手 内 業		人				1
機械経費		%				
材料費		%				

1, #等:諸経費等対象額

地形=丘陵地, 地域=原野, 現地条件12時間当り=0 - 1, 000台未満/12時間

測量第 9号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
小 計					
単 価					
	km				
補正值					

横断測量 丘陵地 原野 単曲線換算曲線数3 間隔20m 幅45m未満 測量第 10号表					
金 円 1 km 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量技師 外 業	人				1
測量技師 内 業	人				1
測量技師補 外 業	人				1
測量技師補 内 業	人				1
測量助手 外 業	人				1
測量助手 内 業	人				1
機械経費	%				
材料費	%				

1, #等:諸経費等対象額

地形=丘陵地, 地域=原野, 現地条件12時間当り=0・1, 000台未満/12時間, 単曲線換算曲線数=3, 測点間隔=間隔20m, 測量幅=幅45m未満

測量第 10号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
小 計					
単 価					
	km				
補正值					

転写連続図の作成					
測量第 11号表					
金	円	1 ha 当り			
積	算	項	目	単位	数量
単	価	金	額	摘	要
測量技師補 内 業					1
測量助手 内 業					1
材料費					
計					

M I O O 1

添付図面作成
字切図

測量第 12号表

金 円 10000 m2 当り

用地調査等業務委託標準積算基準書(静岡県交通基盤部)P1を準用

積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
測量補助員	人				
計					
単価	m2				

請 負 費 構 成 表

[illegible]

測量試験費内訳表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計業務費					
- 直接人件費					
- - 実施設計	式	1			
- - - 農道設計	式	1			
- - - - 実施設計 道路計画 設計延長と距離補正106m, 地形補正A、Bに属さない平均的な丘陵地, 1車線の場合 普通の技術力を要するもの	式	1			設計第 1号表
- - 打合せ	式	1			
- - - 打合せ	式	1			
- - - - 打合せ(設計) 打合せ:着手前・最終	回	2			設計第 11号表
- - - - 打合せ(設計) 打合せ:中間	回	1			設計第 12号表

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接人件費計					
打合せ旅費交通費（通勤ライトバン）					設計第 13号表
	回	3			
電子成果品作成費（実施設計）					
	式	1			
直接経費計					
直接原価					
その他原価					
	式	1			
間接原価					
設計業務原価					
一般管理費等					
	式	1			

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計業務価格					

金 円 1 式 当り 実施設計 道路計画 設計延長と距離補正 106m, 地形補正 A、B に属さない平均的な丘陵地, 1 車線の場合 普通の技術力を要するもの						設計第 1 号表
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
1. 現地調査	式	1			設計第 2 号表	
2. 線形計画・設計	式	1				
2 - 4. 構造物計画	式	1			設計第 3 号表	
3. 土工計画設計	式	1				
3 - 1. 縦断面図作成	式	1			設計第 4 号表	
3 - 2. 横断面設計図作成	式	1			設計第 5 号表	
5. 附帯構造設計図作成	式	1			設計第 6 号表	
8. 工事数量計算	式	1				

設計第 1号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
8-1. 土工、法面工等	式	1			設計第 7号表
8-2. 附帯小構造物一式	式	1			設計第 8号表
12. 照査	式	1			設計第 9号表
13. 点検取りまとめ	式	1			設計第 10号表
計					

打合せ (設計)
打合せ : 着手前・最終

設計第 11号表

金 円 1 回 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
主任技師		人			
技師 (A)		人			
計					

打合せ（設計） 打合せ：中間						設計第 12号表
金 円	1 回 当 り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
技師（A）	人					
技師（B）						
計	人					

打合せ旅費交通費（通勤ライトバン）						設計第 13号表
金	円	1 日 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド		l				
ライトバン 1.5L（運転時間あたり損料）		時間				
ライトバン 1.5L（供用日あたり損料）		日				
計						

実施設計 道路計画 設計延長と距離補正 1 0 6 m，地形補正 A、B に属さない平均的な丘陵地，1 車線の場合 普通の技術力を要するもの																		
作業項目	歩掛数量（上段：標準 下段：補正後）							全体補正・作業項目別補正									電算 機率	計
	主技者	技師長	主技師	技師 A	技師 B	技師 C	技術員	① ⑩	② ⑪	③ ⑫	④ ⑬	⑤ ⑭	⑥ ⑮	⑦ ⑯	⑧ ⑰	⑨ ⑱		
1. 現地調査 第 2 号表									0. 55		0. 90							
2. 線形計画・設計																		
2-4. 構造物計画 第 3 号表									0. 37		0. 90							
3. 土工計画設計																		
3-1. 縦断面図作成 第 4 号表									0. 46		0. 90							
3-2. 横断面設計図作成 第 5 号表									0. 19		0. 90							
5. 附帯構造設計図作成 第 6 号表									0. 37		0. 90							
8. 工事数量計算																		
8-1. 土工、法面工等 第 7 号表									0. 46		0. 90							
8-2. 附帯小構造物一式 第 8 号表									0. 55		0. 90							
12. 照査 第 9 号表											0. 90							
13. 点検取りまとめ 第 1 0 号表									0. 91		0. 90							
合計																		

請 負 費 構 成 表

[illegible]

測 量 試 験 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電算帳票業務委託					
---- データリスト作成	枚	53			電算第 1号表
直接人件費計					
直接原価					
その他原価	式	1			
間接原価					
電算帳票業務原価					
一般管理費等	式	1			
電算帳票業務価格					

データリスト作成						電算第 1号表
金 円 100 枚当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)		人				
技師 (C)		人				
技術員		人				
計						
単価		枚				

委託業務の品質確保における特記仕様書（標準）

本業務の品質確保を徹底するため、引渡し後の成果物の品質に関し、留意事項を定めるものです。

1 設計図書等の作成（工事関連業務）

成果物の引渡し後であっても、次に記載する事項で発注者の指示があった場合においては、原則として無償で設計図書等の作成及び修正を行うものとする。

（ア）設計と現場の乖離（設計と現場が合わない）により設計変更が生じたとき

（イ）設計の不備・誤謬等により設計変更が生じたとき

2 設計内容についての助言等（工事関連業務）

（１）重要な事項等に関しては、必要に応じて関係者へ説明を行うなど、支障が生じないよう適切に対応するものとする。

（２）成果物の引渡し後であっても、発注者が設計内容についての助言等を求めた場合においては、適切に応じるものとする。

（３）受注者は、発注者の指示において本業務に係る工事を請け負う者から協議事項や質疑事項に関して問い合わせ等があった場合、これを発注者によるものとして、誠意をもって適切に対応するものとする。

3 委託業務共通事項

（１）受注者は、成果物に契約不適合があった場合、完了検査等に合格したことをもって免れるものではないため、成果物に修正を施すなど誠実に対応するものとする。

（２）受注者は、発注者より期待した成果物と実態が乖離していると指摘を受けた場合、前項各号と同様に誠意をもって適切に対応するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。